



ほ な み

穂 立

第8号

令和3年10月4日発行

<http://toyoura.shibata.ed.jp>

学校評価(1学期)の結果についてお知らせします

1学期末に生徒・保護者の学校評価アンケートを行いました。ご協力をいただきましてありがとうございました。アンケートの主な結果をお知らせします。アンケートの評価を分析し、今後の教育活動、学校運営の改善を図ってまいります。また、保護者の皆様からの自由記述につきましても、真摯に受け止めて、改善に努めていきたいと思っております。

<生徒アンケートの結果>

	アンケート項目	R3. 7月	R2. 7月
1	平日の学習時間2時間以上	4	11
	平日の学習時間1時間以上2時間未満	52	62
	平日の学習時間1時間未満	44	27
2	授業の内容が分かった・できたと思う	89	91
3	授業の話合い活動を通して考えを深めたり広げたりしている	88	88
4	地域と連携(交流)する活動を通して地域への興味・関心が高まった	76	81
5	学校生活が楽しい	92	90
6	学級の居心地がよい	93	91
7	あたなの行動は学校や学級で人の役にたっている	73	73
8	自分にはよいところがあると思う	78	81
9	先生はあなたのよいところを認めてくれている	94	88
10	学級や学年にあなたのよいところを認めてくれる人がいる	91	/
11	誰に対しても優しく接し、思いやりのある行動をとっている	91	94
12	誰にでもあいさつを積極的に交わしている	92	88
13	時と場に応じた礼儀正しい行動をしている	93	/
14	難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している	80	/
15	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う	100	99
16	学校のきまりを守っている	96	94
17	家の人と学校のできごとについて話をしている	81	77

18	将来の夢や希望をもっている	75	74
19	朝食を毎日食べている	92	94

<知の分野>

【評価項目1】生徒アンケートにおいて、「授業の内容がよく分かる」と答える生徒を85%以上にする。

授業の内容がよく分かる（肯定的評価）→89%	A評価
------------------------	-----

【評価項目2】生徒アンケートにおいて、「授業で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と答える生徒を85%以上にする。

自分の考えを広げたり深めたりしている（肯定的評価）→88%	A評価
-------------------------------	-----

【今後の取組】

- ・職員は教科の特性や生徒の実態を踏まえて積極的に授業内で交流活動を取り入れています。その結果、交流活動は生徒の手によってスムーズに進むようになってきました。
- ・今後の課題は生徒の学力につながる工夫を加えることです。交流活動はうまく進められるようになりましたが、生徒の学びにつながらなければ授業としてうまくありません。教科の専門用語を複数使って事柄を説明したり、解決方法をいくつか挙げ、それぞれの方法の良さを吟味し、自分で解決方法を選択したりすることを取り入れるなど、生徒が主体的に取り組む授業をめざします。これらの活動は仲間と交流すれば考えに磨きがかかると考えています。
- ・授業内で他者と意見を交流し自分の考えに磨きをかけることで、より良く生きる力を身につけてほしいと願っています。

<徳の分野>

【評価項目1】生徒アンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思う」と答える生徒を80%以上にする。

自分にはよいところがある（肯定的評価）→78%	B評価
-------------------------	-----

【評価項目2】生徒アンケートにおいて、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答える生徒を90%以上にする。

いじめはどんな理由があってもいけないことだ（肯定的評価）→100%	A評価
-----------------------------------	-----

【今後の取組】

この1年は感染症対策のため、身体的距離を取った上で常時マスクを着用して諸活動を行っています。生徒同士が直接関わる機会が減りましたが、特別活動や学校行事のやり方を工夫することで、自分や他者の良さに気づけるようにしていきます。また、2学期はいじめ見逃しゼロ集会やスクールネットワークの継続により、「いじめをしない、見逃さない」学校づくりに取り組んでいきます。

<体の分野>

【評価項目1】体力テストで県平均以上となる種目（48種目）の割合を50%（24種目）以上にする。

体力テストの数値が、全県の平均値よりも上回った種目 →15種目	C評価
---------------------------------	-----

【評価項目2】「平日のメディア利用の合計時間が2時間以下である」と答える生徒を60%以上にする

平日のメディア利用時間が2時間以内（肯定的評価） →40%	C評価
-------------------------------	-----

【参考評価項目】平日のメディアの利用時間

時間	R3.7月	R2.7月
3時間以上	17%	15%
2時間以上3時間未満	43%	36%
1時間以上2時間未満	36%	42%
1時間未満	4%	7%

【今後の取組】

今年度は、6月、9月、11月、1月の計4回「生活習慣チェックウィーク」を実施する予定です。今後も、メディア機器の長時間利用が心身に及ぼす影響を指導していきます。また、この期間を生かして、メディア機器の利用時間を自分でコントロールする力を付けさせたいと思っています。ご家庭でも、日々の生活の時間の使い方について、お子さんと話し合っただけであれば幸いです。

<保護者アンケートの結果>

	アンケート項目	R3.7月	R2.7月
1	お子さんは楽しく学校に通っていますか	90	90
2	お子さんは積極的にあいさつをしていますか	80	80
3	お子さんは学校のきまりを守っていると思いますか	88	93
4	お子さんは毎日朝食をとっていますか	95	96
5	お子さんは学校のできごとについて話をしますか	66	72
6	お子さんは毎日60分以上家庭学習をしていますか	31	52
7	お子さんの平日のテレビ視聴とゲーム、SNSの使用時間は2時間以内ですか	49	58
8	お子さんはネットにつながる通信機器をもっていますか	95	92
9	お子さんのネット通信機器の使用について話し合いや約束をしていますか	84	83
10	お子さんはネット端末機器の使用を10時までとする「豊中SNSルール」を守っていますか	60	/
11	生徒は交通安全・交通マナーを守って登下校をしていると思いますか	93	96
12	学校はたよりやHP等で生徒や教育活動の様子を伝えていると思いますか	85	87
13	学校は生徒の学習や生活等について相談しやすいと思いますか	76	68

保護者の皆様の自由記述欄からの質問・要望

保護者アンケートで、学校の教育活動についてのご意見をいただきました。全体にかかわるご意見を中心に回答させていただきます。すべてのご意見等に回答できないことをご了承ください。なお、同様の質問は内容を集約しています。

- 学校の学力改善のための取組が見えてきません。どのような対策をしているのか、お知らせいただきたい。宿題がほとんどでないからでは？と考えます。

回答 家庭学習の促進を目的とした支援を考えています。具体的には、自学ノートの取り組み方の向上に向けた個別指導、受検用教材での学習支援、タブレット等を活用したキュビナ（人工知能を搭載したアダプティブ・ラーニング教材）での家庭学習環境の提供等を考えています。

- マスクはいつまで着用しなければいけないのか。成長期の子どもの長時間のマスクの着用はとても有害だという論文もあります。

回答 新型コロナウイルス感染予防策のため文部科学省および教育委員会の指導のもとでマスク着用をお願いしています。よって、文部科学省・教育委員会からマスク着用の指示の解除ができるまではマスク着用をお願いすることになります。ただし運動中や気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高い環境、呼吸が苦しく健康被害のリスクがある場合は、教師の指導のもとマスクを外す場合があります。

また、マスク着用による新型コロナウイルス感染予防策として不織布マスクが推奨されています。可能な限り不織布マスクの着用をお願いいたします。

- 先生方が生徒を呼ぶ際に、呼び捨てやさん、ちゃん、くんなど様々なようですが、小学校では生徒や先生方、共通でさん付けで呼んでいます。いじめ問題などにも関係するので、小学校での方針を踏襲した方がよいのではないかと。

回答 ご指摘のとおり、生徒を「さん」付けでよぶようにします。

- 女子は下着（シャツ、タンクトップ）の色を黒にしたほうがいいのではないかと。白だと透けてしまいます。下着が白でなくてはいけないきまりをなくしてほしい。

回答 一般的に白いワイシャツの下着が見えたり、濃い色が透けたりしていることはマナー面から望ましいことではありません。ですが、価値観も多様化している中、何色が良くて何色が良くないという線を引くことは困難です。

そこで当校では「うすだいたい（パールオレンジ）色もしくは靴下の色に準ずること。」とします。靴下の色は白色、灰色（グレー）、紺色、黒色となっています。いずれも無地で柄のついていないものにしてください。

